

令和6年度 新羽地域ケアプラザP D C Aシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

市営地下鉄の駅がエリア内に2つあります。住宅と工場が混在し、地区西側の丘は市街化調整区域になっています。地区の東と南は鶴見川に面しており、豪雨の場合の防災についても関心が高い地区です。南端に高速横浜環状北線のインターができてから、車両交通量の増大がみられ、新しいマンションが建設されたり、コンビニエンスストアが増えてきました。

新羽・北新横浜エリアの高齢化率に大きな変化はありませんが、新しいマンションが建つエリアとそうでないエリアでは高齢化率に差が見られます。要支援悪化率の増加や、認知症高齢者率は少しずつ上がっています。認知症になってもこれまでどおりの暮らしができるような地域であるよう、住民の皆さんと一緒に考えていきます。

第4期地区福祉保健計画（和・輪・話のまち にっば）も終盤となり、世代を超えた繋がりづくりがいろいろな企画のもと進められています。そしてこれからの時代に合った町内会や新羽地区の情報共有・発信手段の試みも始まろうとしています。誰もが気軽に参加できる活動が増えることに期待を寄せサポートしていきます。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	出張講座や町内会のイベントなどの機会を利用して、地域の方と顔をつなぐとともに、高齢者の健康づくりや社会参加の必要性を伝えていく。
☐	☒	ケアプラザの事業に参加していただく機会や医療面での相談を通して、協力医との連携を進める。
☐	☒	認知症高齢者が地域で生活する上で抱える問題を、近隣住民や専門職らと地域ケア会議で話し合い共有化する。
☐	☒	お互いの理解や顔の見える関係になれるよう年齢・性別・障害の有無に関係なく交流できる場を作る。
☐	☒	不登校児が居場所や保護者が悩みを相談できる場を作る。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

・定期的（隔月）に協力医による個別相談会を設け、地域の方やケアマネジャーからの相談に対応していただく機会をもつことができました。またオレンジカフェ（認知症カフェ）にも参加していただき、地域の方と協力医とのつながりづくりに取り組みました。2月には講演会の開催も企画しています。

・多数の支援者とともに地域の民生委員さんに参加していただき7月に個別レベルの地域ケア会議を行いました。今後はチームオレンジの活動への理解を深め、個別レベル、包括レベルの地域ケア会議を含む地域の方々との話し合いの場を積極的に設け認知症高齢者やそのご家族が安心して過ごせるよう地域でのつながりづくりに取り組みたいと思います。

・認知症サポーター養成講座の出張を各町内会に呼びかけ、希望された団体に向けて実施しました。実際に介護をされている方の声を聞くことができたり、ケアプラザに来られたことのない方に活動を知っていただく機会となりました。

・年齢・性別・障害の有無に関係なく交流できる場作りについては、新羽らっぱフェスティバルでの団体の活動体験・ワークショップの開催や、地域食堂の支援等を通じ、お互い顔の見える関係作りに取り組みました。

・不登校児に関する取り組みでは、まずは講演会を開催し、不登校児の抱える現状や対応の仕方等について、学ぶ機会を持ちました。今後、居場所や保護者が悩みを相談できる場作りに向けて、取り組みたいと思います。

☐ 区からのコメント

新羽地区内では、ケアプラザを拠点に地域住民の交流が図られています。老若男女、障害の有無問わず多くの利用があり、外国人の方も活動に参加している様子も見受けられます。第5期ひっとプラン港北地区計画策定では、住民アンケート実施にあたり、地区住民のサポートをしたり、能登半島地震直後にケアプラザの活動団体の申出で、復興支援チャリティーコンサートを開催する等、フットワーク軽く対応しています。

オレンジの輪プロジェクトでは、積極的に認知症について取組み、地域の方にも浸透してきている様子が伺えました。オレンジカフェも毎月開催し、当事者やご家族が立ち寄りやすいあたたかい雰囲気となっています。サポーター養成講座も短時間で町内会で実施しており、今後もチームオレンジの取組を通して、認知症の方やそのご家族が安心して過ごせるよう地域のつながりづくりにつながると思います。

これからも新羽地区住民に寄り添った支援を実施してくれるケアプラザであることを期待します。

令和6年度新羽地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	・ご相談の際にはリストを提示したり、複数箇所の特徴をご説明したりしながら、公正なご案内ができるようつとめていきます。 ・館内のご利用が戻りつつあります。新たな団体にも利用しやすいものとなるよう、公平なご利用案内やロッカー保管場所などの抽選を継続していきます。	・全職員研修で防災、緊急時対応、設備説明、救急対応などを行い、未然に防ぐための対応力も高めます。 ・全職員研修で個人情報保護についても毎年行い、意識を高めるとともに普段の業務の見直しをしています。
実績	・相談時に冊子やプリント、パンフレットを活用し、複数の事業所の説明とご相談者の選択支援に努めました。 ・お部屋利用のご予約についても公正な受付につとめ、団体備品の保管場所についても複数団体の話し合いの場を持つなど公平なご利用になるようつとめました。	・全職員研修で個人情報保護、防災、救急嘔吐対応研修などを行い、未然に事故を防ぐとともに意識啓発の機会を持ちました。 ・個人情報保護については独自のチェックリストも作り、漏洩しないための環境作りについて再確認しました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	1.利用者との信頼関係を築きながらアセスメントを行い、安心してサービスを利用し介護予防に取り組めるように各々の目標に向けて実践、評価し、支援してまいります。 2.困難ケースは地域や区・他事業所と連携しより良いケアマネジメントができるように努めていきます。	1.住み慣れた地域でその人らしく生活が営むことを目標とし、ご利用者の意思を尊重し、心身や置かれている環境状況等に応じた居宅サービス計画の作成に努めます。 2.サービス提供にあたっては、サービス種類や事業所に偏ることなくまた、介護保険サービスのみならず地域のインフォーマルサービスをご自身で選択できるように支援いたします。 3.外部研修により最新の情報を収集し、福祉拠点のケアプラザとしての責務をはたしていきます。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	社会福祉職1名、保健師1名、(常勤2名)	介護支援専門員 管理者(常勤兼務) 1名 常勤(専任) 1名 非常勤 1名
契約者数	83	36

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標			
実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	【その他料金】	【その他料金】	【その他料金】
職員体制			
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和6年度「新羽地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	21,037,608	56,700	21,094,308	20,768,773	325,535	横浜市より 戻入金325,535円
自主事業収入 (指定管理料充当の自主事業)	5,000		5,000	4,800	200	旅する子どもアトリエ他参加費
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
収入合計	21,042,608	56,700	21,099,308	20,773,573	325,735	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,893,608	0	12,893,608	11,274,786	1,618,822	本部、会計労務兼務職員含む
本俸	9,373,608	1,810,000	11,183,608	9,833,993	1,349,615	給与、諸手当
社会保険料	1,270,000		1,270,000	1,131,598	138,402	健康保険料、厚生年金保険料、雇用保険料、労災保険料
手当計	1,810,000	△ 1,810,000	0	0	0	期末手当 令和6年度より本俸へ記載
健康診断費	30,000		30,000	29,823	177	健康診断料
勤労者福祉共済掛金	10,000		10,000	7,440	2,560	ハマふれんど会費
退職給付引当金繰入額	150,000		150,000	102,672	47,328	
その他	250,000		250,000	169,260	80,740	医療福祉機構退職共済掛金
事務費	3,109,980	0	3,109,980	1,682,402	1,427,578	
旅費	27,000		27,000	32,350	△ 5,350	市内出張交通費
消耗品費	240,000		240,000	189,483	50,517	事務消耗品費、他
会議開い費	25,000		25,000	24,896	104	
印刷製本費			0	0	0	
通信費	415,000		415,000	449,536	△ 34,536	FAX、電話代、携帯電話代、後納郵便代、切手代、OCNインターネット使用料等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	30,000		30,000	25,403	4,597	指定管理総合賠償保険、総合賠償保険
職員等研修費	15,000		15,000	7,754	7,246	研修時交通費、研修受講料
振込手数料	20,000		20,000	15,544	4,456	給与振込手数料、総合振込手数料
リース料	335,000		335,000	293,900	41,100	FAX、サーバー、コピー機、自動前読システム、FAXクラウド利用料
手数料	5,000		5,000	4,180	820	
地域協力費			0	0	0	
その他	1,997,980		1,997,980	639,356	1,358,624	諸会費、機密文書委託費、ホームページ保守委託費
事業費	300,000	0	300,000	198,219	101,781	
運営協議会経費			0	0	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	300,000		300,000	198,219	101,781	
その他			0	0	0	
太陽光パネル保守点検	0	0	0	0	0	
太陽光パネル保守点検			0	0	0	
太陽光パネル修繕（追加）	0	0	0	0	0	
太陽光パネル修繕（追加）			0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）			0	0	0	
管理費	4,260,020	0	4,260,020	2,195,105	2,064,915	
光熱水費	2,730,020		2,730,020	1,068,768	1,661,252	電気、ガス、水道
清掃費	1,200,000		1,200,000	865,261	334,739	日常清掃、定期清掃等
機械警備費	210,000		210,000	160,013	49,987	ALSOC機械警備料
設備保全費	120,000	0	120,000	101,063	18,937	
空調衛生設備保守	120,000		120,000	101,063	18,937	室内外空調点検
消防設備保守			0	0	0	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費			0	0	0	
共益費			0	0	0	
その他			0	0	0	
修繕費	474,000		474,000	148,465	325,535	予算：指定額
公租公課	0	0	0	1,223,861	△ 1,223,861	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	1,223,861	△ 1,223,861	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	21,037,608	0	21,037,608	16,722,838	4,314,770	
差引	5,000	56,700	61,700	4,050,735	△ 3,989,035	

自主事業費 収入	5,000	0	5,000	4,800	200	
自主事業費 支出	300,000	0	300,000	198,219	101,781	
自主事業 収支	△ 295,000	0	△ 295,000	△ 193,419	△ 101,581	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度「新羽地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	18,704,536		18,704,536	18,004,897	699,639	横浜市より 戻入金699,639円
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】			0		0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,943,000		5,943,000	5,943,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0		0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	16,000		16,000	7,000	9,000	男子厨房に入ろう参加費
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	110,000		110,000	104,100	5,900	みなみくらぶ参加費、音楽でコミュニケーション参加費
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
収入合計	24,927,536	0	24,927,536	24,212,997	714,539	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	19,882,536	0	19,882,536	18,357,247	1,525,289	
本俸	13,250,536	3,500,000	16,750,536	15,043,955	1,706,581	給与、諸手当
社会保険料	2,400,000		2,400,000	2,527,029	△ 127,029	健康保険料、厚生年金保険料、雇用保険料、労災保険料
手当計	3,500,000	△ 3,500,000	0		0	期末手当 令和6年度より本俸へ記載
健康診断費	25,000		25,000	25,991	△ 991	健康診断料
勤労者福祉共済掛金	23,000		23,000	20,160	2,840	ハマふれんど会費
退職給付引当金繰入額	250,000		250,000	281,472	△ 31,472	
その他	434,000		434,000	458,640	△ 24,640	医療福祉機構退職共済掛金
事務費	2,377,020	0	2,377,020	1,204,765	1,172,255	
旅費	41,000		41,000	49,710	△ 8,710	市内出張交通費
消耗品費	150,000		150,000	119,126	30,874	事務消耗品費、他
会議贈い費			0	4,362	△ 4,362	
印刷製本費			0	0	0	
通信費	240,000		240,000	220,166	19,834	FAX、電話代、携帯電話代、後納郵便代、切手代、OCNインターネット使用料等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	30,000		30,000	25,402	4,598	指定管理総合賠償保険、総合賠償保険
職員等研修費	12,000		12,000	4,244	7,756	研修時交通費、研修受講料
振込手数料	13,000		13,000	16,989	△ 3,989	給与振込手数料、総合振込手数料
リース料	140,000		140,000	94,895	45,105	AED、クーラー、コピー機、自動削減システム、FAXクラウド利用料
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他	1,751,020		1,751,020	669,871	1,081,149	ガソリン代、旅費、備品文庫委託費、ホームページ保守委託費、駐車場代、自転車修繕費等
事業費	1,284,000	0	1,284,000	620,062	663,938	
協力医	630,000		630,000	210,000	420,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	200,000		200,000	12,620	187,380	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	141,994	12,006	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	300,000		300,000	255,448	44,552	
その他			0		0	
管理費	1,131,980	0	1,131,980	583,500	548,480	
光熱水費	710,000		710,000	284,102	425,898	電気、ガス、水道
清掃費	348,980		348,980	230,002	118,978	日常清掃、定期清掃等
機械整備費	45,000		45,000	42,534	2,466	ALSOC機械整備料
設備保全費	28,000	0	28,000	26,862	1,138	
空調衛生設備保守	28,000		28,000	26,862	1,138	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費			0		0	
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	126,000		126,000	39,465	86,535	予算：指定額
公租公課	0	0	0	16,207	△ 16,207	
事業所税			0		0	
消費税			0	16,207	△ 16,207	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	24,801,536	0	24,801,536	20,821,246	3,980,290	
差引	126,000	0	126,000	3,991,751	△ 3,265,751	

自主事業費 収入	126,000	0	126,000	111,100	14,900	
自主事業費 支出	654,000	0	654,000	410,062	243,938	
自主事業 収支	△ 528,000	0	△ 528,000	△ 298,962	△ 229,038	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

施設名：新羽地域ケアプラザ

6年4月1日～ 7年3月31日

(単位：千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	450	280	170	650	814	-164	9,200	7,814	1,386			0			0
	その他	1,400	1,442	-42	2,500	2,305	195	100	83	17	0	0	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	1,400	1,442	-42	2,500	2,285	215			0			0			0
	認定調査委託費			0			0	100	54	46			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	個別避難計画作成費			0			0		9	-9			0			0
	その他			0		20	-20		20	-20			0			0
	収入合計(A)	1,850	1,722	128	3,150	3,119	31	9,300	7,897	1,403	0	0	0	0	0	0
支出	人件費			0	1,020	535	485	8,611	8,812	-201			0			0
	事務費			0	80	278	-198	689	798	-109			0			0
	事業費			0	0		0	0	0	0			0			0
	管理費			0	0		0			0			0			0
	その他	1,400	1,442	-42	2,500	2,285	215	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	1,400	1,442	-42	2,500	2,285	215			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	支出合計(B)	1,400	1,442	-42	3,600	3,098	502	9,300	9,610	-310	0	0	0	0	0	0
収支 (A)－(B)		450	280	170	-450	21	-471	0	-1,713	1,713	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和6年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業			1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）					7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	たんぽぽにっば	H26	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育てボランティアグループたんぽぽにっば主催で毎月第2・4火曜日、第3月曜日に開催している子育てサロン	3:養育者及び乳幼児	4	第2火曜日は工作や手遊び・読み聞かせ。 第4火曜日はフリースペースとして新羽地域※コロナ禍では第2・4共にフリースペース。 ケアプラザ4F多目的ホール2にて開催。 第3月曜は北新羽町内会会館にて開催。	30	421
2	ダイニング28	H28	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	「新羽の地域で子ども食堂を」という地域の一人の声から始まり、地域食堂を運営する団体が結成、地域食堂を多くの方に知ってもらい、地域の居場所づくりを進めていく。	5:地域	1, 2, 3, 4	月1回、28(にっばの日)日に地域食堂を開催。地域の居場所として、多世代で集まり、ご飯と一緒に食べる場、繋がる場をつくっている。	12	701
3	みなみくらぶ	R1	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	南町内会エリアの高齢者に集いの場の必要性を知ってもらう。遠くに通わずともできることを続けてもらう。	1:高齢者	5	毎月第1・3水曜日 筋力トレーニング、脳トレ、音楽に合わせたエクササイズなど	22	116
4	音楽でコグニサイズ	R1	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	これまでケアプラザの講座に参加したことがない方や、体を動かすことが苦手な方にも、音楽療法を使って仲間づくりの楽しさや健康づくりの大切さを知ってもらいたい。	1:高齢者	5	毎月第4木曜日 13:00～14:30 ・音楽ウォームアップ ・口腔機能強化 ・音楽コグニサイズ ・音楽脳トレ	12	220
5	オレンジカフェ	R4	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	集いの場を使つての認知症啓発と当事者支援。当事者と身近に接することによって、誰もが認知症を身近なこと考える地域を目指す。	1:高齢者		毎月第3火曜日 13:30～14:30 8月はお休み	11	97
6	大竹うたの会	R2	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	つどえる場や歌が歌える場が減って気持ち落ちている方に、楽しめる時間を提供し元気になるってもらい、集いの場の必要性を知ってもらう。	1:高齢者	5	5月11日、10月12日 回想音楽セラピーを屋外で開催 善教寺の協力を得て境内に椅子を置いて実施	2	79
7	カフェ・ド・らんらん	H29	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	地域住民の交流の場と地域貢献の場の提供	5:地域	1,2,4	毎月6日 コーヒー・紅茶の提供。 ボランティアによる楽器の演奏。	11	312
8	ドレミっば♪新羽音楽会	H26	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	誰もが親しめる音楽という媒体を通して、地域ケアプラザ・コミュニティハウスをより多くの方に知っていただく機会を作る。	5:地域	1, 2, 3, 4	誰もが親しめる音楽という媒体を通して、地域ケアプラザ・コミュニティハウスをより多くの方に知っていただく機会を作る。	1	56
9	みどりの輪きたにっば	H30	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	モルックを使った集まりの場を定着させる	1:高齢者	5	11/9(土)モルックイベント	2	63
10	にっばラジオ隊	R2	4:共催(1と2)	2:発展させるねらい	誰もが簡単に参加できるラジオ体操を通して、地域の人が顔を合わせる機会を増やすとともに、気軽にボランティア活動できる場を提供する。	5:地域	1, 2, 3, 4	毎月第2・4土曜日 9:30 5月10月はモルックも実施	19	363
11	利用団体交流会	H27	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	貸館に関する利用方法等の周知と利用団体の相互交流。	7:その他		6/1 10:30-12:00 9/1 10:30-12:00(麻雀団体)	2	61
12	パパ講座	R3	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	子どもとの接し方や、遊び方、夫婦の関係づくり等のヒントを共有する。	3:養育者及び乳幼児	5	9/7 対話から始めよう～子育てを楽しむ夫婦のパートナーシップ～ 10/5 はみがきのススメ 11/16 パパと体操 12/7 救急法	4	43
13	オレンジの輪プロジェクト 認知症サポーター要請講座	R3	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症の理解と啓発	5:地域	1	8/9 地域の子どもと学童保育児童を対象に、認知症養成講座を実施。オレンジ色のランタン作りのワークショップ 8/9 新羽町町内会 9/7北新羽町内会(大竹町内会は期日未定)	3	22
14	オレンジの輪プロジェクト 講演会	R3	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症の理解と啓発	5:地域	1	9/7 午後 横浜総合保健医療センター 精神科医による最新の認知症医療に関するお話	1	43
15	オレンジの輪プロジェクト 認知症のことを知る時間	R3	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症の理解と啓発	5:地域	1	9/21 午後 横浜労災病院認知症看護特定認定看護師による認知症サポーター養成講座	1	17

■ 事業	■ 事業の性質	■ 主な対象者、従たる対象者
1：地域活動交流事業 3：生活支援体制整備事業 6：共催（2と3）	1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者 4：子ども・青少年 7：その他
2：地域包括支援センター運営事業 4：共催（1と2） 7：共催（1と2と3）		2：障害児・者 5：地域 6：事業者
5：共催（1と3）		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
16	オレンジの輪プロジェクト オレンジ大使講演会	R3	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	認知症の理解と啓発	5：地域		10/5 13時30分～15時 松浦謙一・えみ子夫妻による認知症当事者のお話	1	28
17	ぎょうざ作り交流	R1	7：共催（1と2と3）	2：発展させるねらい	ひとつプラン 住民交流部会による企画。 地域の人々の交流のきっかけ作り。	5：地域	1,2,4	4月7日（日）10:00～13:00 餃子を作って一緒に食べながら交流する。	1	7
18	知る活からやる活へ	R5	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	ボランティア活動に興味はあるが一歩を踏み出せない人に、いまだんなボランティアが必要とされているか知ってもらい、活動への後押しをする。	1：高齢者		9月27日「知る活からやる活へ」 1日目：地域の困りごとの講座 2日目：見学・体験	1	24
19	新羽メンズアクティブクラブ	R5	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	男性の地域デビューを促し、地域で活躍する男性を増やす。講座終了後も集まれるような、新しい形の居場所づくりを目指す。	1：高齢者		5/10 につばめぐり 6/14 MTG	7	37
20	につばらつぱフェスティバル	H27	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	ケアプラザ・コミュニティハウスを利用する団体の活動を体験したり見たりすることで、地域の方々に新たな活動やつながりを生み出す場。また地域に施設の存在を知ってもらう機会とする。	5：地域		11/23（土）・24（日） 利用団体の活動を体験する、制作した作品を展示する、福祉作業所等の雑貨や食品を販売する。	1	673
21	よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	H30	3生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	高齢者のボランティア活動を推進することで、介護予防・社会参加を促進する。	1：高齢者		7月16日（火）	2	8
22	心のバリアフリープロジェクト ほっと・館と一緒に草木染体験	R4	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	障がいの理解を深める。	5：地域		R7.3 予定	1	16
23	鉄トーク	R3	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	障がいの有無に関わらず、共通の話題を通じて、地域の方同士が交流できる場を作る。また、相談員が地域の方と繋がる機会にもなることで、支援を必要とされる方の情報取得の可能性を広げる。	2：障害児・者		第1回 8/24（土）10時～12時 第2回 2/22（土） 鉄道好きな人が集まり、自由におしゃべりする。	2	20
24	認知症サポーター養成講座	H29	6共催（2と3）	1：優先的に取り組み	いろいろな世代の人に認知症について正しく知ってもらい、今後広がっていく生活圏域の中で役立ててもらう。	5：地域	1,3,4	2/20 新羽中学3年生 3/13 神奈川県消費者団体連絡会	2	100
25	旅することもアトリエ	R6	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	障がい児がアートを学びながらも協調性や社会性を身に着ける場。	2：障害児・者		7/27（土） 絵の具で遊ぼう～自分の色を見つけよう！～	1	3
26	不登校を考える講演会	R6	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	学校に生きている子どもとその親の支援のために、まずは不登校や引きこもりの専門家による講演会を実施し、不登校児へのよりよい対応を知る。	4：子ども・青少年		8/24（土）13時～14時30分 よこはま北部ユースプラザ 織田鉄也氏	1	14
27	尺八読み聞かせ演奏会	R6	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	横浜市の読書月間に合わせて、読み聞かせと尺八の演奏会を行うことで、伝統芸能に触れる機会を持つ。	5：地域		11/9（土） 午後 福岡忠行・みちこ	1	20
28	10周年祝賀会	R6	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	開館10周年を迎え、運営に関わってくださった方々に感謝をお伝えするとともに一緒にお祝いの時間を持つ。普段から活躍してくださっているボランティア団体に感謝の気持ちをお伝えする。	5：地域		5/12（日）皆様と10年を振り返るスライド上映。祝辞をいただき、ボラ団体の活動表彰、アルバの祝賀演奏。	1	36
29	協力医個別相談会	R6	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域の方の抱えている健康問題に対して、かかりつけ医とは別に気軽に相談でき医学的な意見をもらうことができる機会を提供する	5：地域		奇数月1回、一人当たり20分程度 新羽・北新横浜在住の方 協力医に直接ケアプラザの面談室で相談。	4	6
30	きりり港北感染予防勉強会	R6	2：地域包括支援センター運営事業	2：発展させるねらい	感染予防に関して、地域における支援者として留意すべき基本的事項を確認し、演習を通して各々感染予防への取り組みを振り返る。	6：事業者		感染症の基礎の確認 実習：手洗いチェッカーに手洗い、評価、グローブやエプロン等個人防護具の脱着	1	16
31	モルックを楽しむ会	R6	6：共催（2と3）	2：発展させるねらい	モルックを楽しみながら、外での運動や会話を行う機会を増やし、地域の方との自然な交流を図る	5：地域	1,2,4	モルックで健康！ 講座終了後にモルックを楽しむ会として継続 主にチームを作り、モルックのゲームを楽しむ。10月から屋外で実施。	9	130

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）				4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）					7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
32	新羽地区子どもネットワーク	R5	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	保育園、幼稚園、学童保育など、新羽地区にある子育て関係機関がネットワークを構築し、特に子供に関する地域課題について話し合う。	4:子ども・青少年		定例会の開催、イベントへの参加、勉強会の開催等 5/13 子ども家庭支援課のお話 7/14 基幹相談支援センターのお話 10/11 アンガーマネジメント研修 門井恵理子氏	11	223
33	e-sportsを体験しよう！	R6	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	最近、高齢者の集まる場に導入され始めたゲームスポーツを体験してみる。 新羽でどれくらい需要があるのか見てみる。	1:高齢者		横浜創造100人隊eスポーツ事業 4 1/10講師派遣講座 3/7～13介護予防団体による体験会	5	57
34	10周年感謝祭	R6	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	10周年を記念した企画。ケアプラザの利用団体や地域の方と、踊りや音楽を通して楽しいひと時を過ごす。	5:地域		3/30(日) 10:00～11:30 ディスコミュージックでダンスエクササイズ 11:30～14:00 サンクスカフェ 13:00～14:00 アニバーサリーコンサート	1	102
35	感謝されるおいじたく講座	R7	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	エンディングノートの解説をしながら、早めに自身の意向について表明しておく大切さについて知る。	1:高齢者		5 1/24行政書士を迎え、自身の意向を表明し、エンディングノートを活用することでどう暮らしたいか生きたいかをイメージできる機会とする。	1	27
36	地区社協防災講座	R7	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	能登半島地震後に災害支援に入ったモバイルファーマシーの話を薬剤師の先生から聞くことで、災害支援や避難所運営のカギになる重要なポイントを聞く。また個人でできる工夫についても教わる。	5:地域		2/9地区社協の主催事業として、被災地支援体験者の薬剤師からモバイルファーマシーの活動を聴き、より具体的にイメージし災害に備える。	1	35
37	協力医講演会		2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	訪問診療とは何かをわかりやすく説明していただき 訪問対象(小児～高齢者迄)や切り替えのタイミング、費用等具体的な活用方法を知る	1:高齢者		5 2/15テーマ:「家で過ごしたい」を支援する「訪問診療」について。訪問診療は在宅療養の心強い味方になる選択肢として活用できることを伝え、 新任の協力医の存在を地域の方知ってもらう機会とする。	1	26